

おうづかこふん 王塚古墳

所在地/嘉穂郡桂川町
指定/特別史跡



上空から見た様子



内部の様子

おうづかこふん

王塚古墳は今から約 1500 年ほど前の古墳です。

古墳とは土を盛り上げて造られた昔のお墓で、約 1750 年前～約 1300 年前ぐらいまでのおよそ 450 年間にわたって日本各地につくられました。古墳には丸いものや四角いものなど様々な形がありますが、王塚古墳は、それぞれの地域で大きな権力を持った人しかつくりすることができない前方後円墳(※)という形です。長さ 86m と福岡県内では屈指の規模を誇ります。

王塚古墳には遺体をおさめるために大きな石を積み上げた部屋(石室)がつくられ、その奥には約 1500 年前に、現在の熊本県で流行していた形のひつぎが置かれています。この頃、福岡県では、石室に赤や黒などの絵の具を使って絵を描くことが盛んに行なわれ、その数は全国一でした。王塚古墳はそうした「装飾古墳」を代表する古墳です。石室には三角形が連続する

文様をはじめとして馬や人、星と考えられる丸い文様など非常に多くの種類の絵で埋め尽くされています。これらの文様には、死者の霊をなぐさめたり、悪霊が寄りつかないようにする役割があったのではないかと考えられています。

王塚古墳は保存されているのでいつでもみることができますが、絵を守るため、石室の中を見ることができるのは春と秋の年 2 回だけです。その代わりに、古墳の横の王塚装飾古墳館に行けば、本物の石室と同じ大きさの復元模型を見ることができます。

※前方後円墳：まるい形と四角い形がつながった形で、まるい方に死者が埋葬されることが多い。

【もつとくわしく調べたい】

○王塚装飾古墳館 嘉穂郡桂川町寿命 376 番地 Tel 0948-65-2900

【王塚古墳に行ってみよう】

○J R 桂川駅から徒歩 8 分